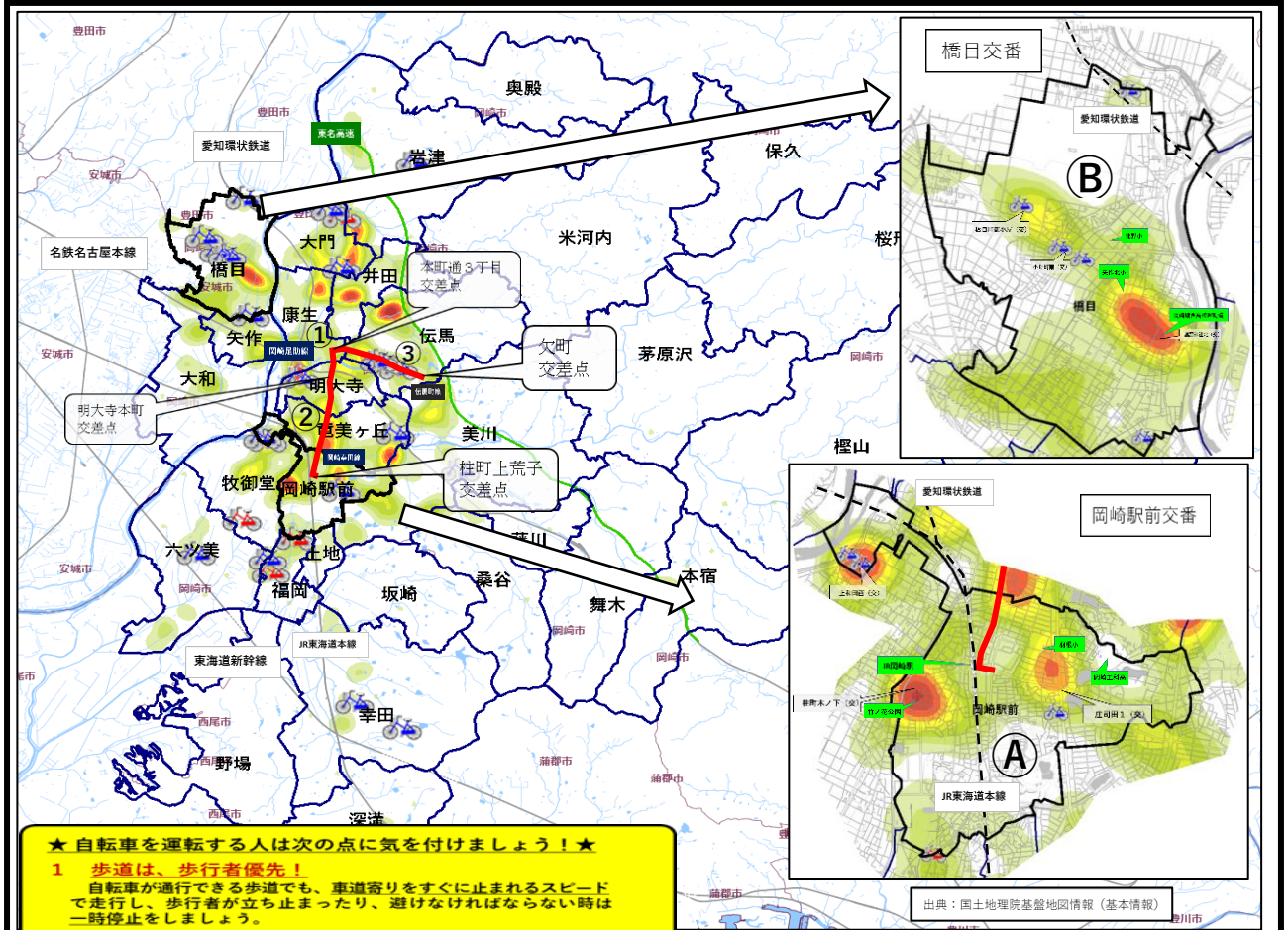


令和6年自転車指導啓発重点地区及び路線

岡崎警察署



★自転車を運転する人は次の点に気を付けましょう！★

- 1 歩道は、歩行者優先！**
自転車が通行できる歩道でも、車道寄りをすくすく止まれるスピードで走行し、歩行者が立ち止まったり、避けなければならない時は一時停止をしましょう。
- 2 ながら運転は危険！**
片手運転になったり、周りの危険を発見することができず、重大な交通事故につながる危険な行為です。絶対にやめましょう！
- 3 「止まれ」では確実に一時停止を！**
一時停止場所や見通しの悪い交差点では必ず一時停止しましょう。

凡例

- 自転車事故密度分布 (Low to High)
- 自転車指導啓発重点地区
- 自転車指導啓発重点路線
- 死亡事故発生場所
- 重傷事故発生場所

区分	岡崎警察署 管内	
	R3.1 ~ R5.10	重傷事故 死亡事故
自転車関連事故	542	21 4

選定理由

【重点地区】

① 岡崎駅前交番管内

選定理由
国道248号、主要地方道岡崎刈谷線、県道岡崎幸田線を有しており、交通量はとても多い。また管内には、藤田医療センター、複数のショッピングセンターがあり、重大事故を防ぐためにも昨年引き続き対策が必要である。

【重点地区】

② 橋目交番管内

選定理由
国道1号と並行するように走る主要地方道名古屋岡崎線は、昨年拡幅工事（2車線化）を終え本年規制速度も法定60キロとなり、ますます名古屋と三河を繋ぐ道路として交通量が増えている。しかし管内には小・中学校をはじめとする学校が多くあり、特に通勤・通学、帰宅時間帯には交通の輻輳による交通事故の発生が懸念され対策が必要であるため、本年新たに選定した。

この地区でよく見られる自転車利用者の違反形態

- 前後、左右に対する安全不確認
- 一時不停止

① 県道岡崎足助線

本町通3丁目交差点 ~ 明大寺本町交差点 818 m

選定理由
県道岡崎幸田線から北方に伸びる路線であり名鉄岡崎駅を起点として通勤、通学のため自転車での移動者が多く、自転車に対する対策が必要であるため、本年新たに選定した。

② 県道岡崎幸田線

明大寺本町交差点 ~ 柱町上荒子交差点 3,179 m

選定理由
JR岡崎駅を起点として通勤、通学のため自転車での移動者が多く、引き続き自転車に対する対策が必要である。

③ 市道伝馬町線

康生通交差点 ~ 欠町交差点 2,516 m

選定理由
令和5年、自転車通学の女子高校生が車にはねられ重傷を負う事故が発生したほか、軽傷事故が数多く発生している。また路線上には公園、公の施設、買い物客の多い店舗も数多くあるため、新たに選定した。